

第 5 2 回大阪府・大阪市合同学校図書館研究集会
小学校部会（大阪市）「ビブリオクイズ！世界の物語を紹介しよう」

〈司会者〉

大阪市教育研究会 学校図書館部の紹介…運営部と実践部に分かれて研究を進めている。

提案者の紹介…大阪市立啓発小学校 早川めぐみ先生（学校図書館部運営部）

〈提案者〉

学習・情報・読書センターとしての学校図書館

研究の方法

①「学校図書館運営計画」の実践

②「学校図書館活用年間計画」の見直し

③委員会活動の活性化

図書委員の児童によるオリジナル絵本、スタンプラリー、夏休みのイベントの紹介

④学校図書館補助員・読書活動支援ボランティア及び公共図書館との連携

学校図書館補助員と連携したイベント（本の帯づくり、よみきかせ、連絡ノート）

⑤授業実践「ビブリオクイズ！世界の物語を紹介しよう」

クイズというゲーム性をもたせることで、より楽しんで学習できる。

ビブリオバトルではなく、ディスカッションをしないため、中学年でも取り組みやすい。

公共図書館の団体貸し出しを利用したことで、たくさんの本から選ぶことができた。

本は国や地域ごとに教室に配置し、その国のおもちゃや生活用品も並べた。

実際のビブリオクイズの様子（動画）

授業後、クイズと本を学校図書館に展示したことで、他学年へと広がった。

〈提案への質問・感想〉

加美東小学校でも、全校児童でビブリオバトルに取り組んだり、近畿大学図書館の取り組みを取り入れたりと、学校図書館の活用や読書推進活動に力を入れている。図書委員会の児童は、全員が本好きな子ばかりではないと思うが、どのように決めているのか質問したい。（大阪市立加美東小学校 平松 T）

⇒「本の楽しさをどう伝えるか考えるお仕事だよ」と決める前に伝えている。図書委員は、（どんな子であれ、）本の楽しさを伝えるためにまず自分で読むことになる。（提案者）

どのように選書しているか聞きたい。（大阪市立加美東小学校 平松 T）

⇒コーディネーターに、足りないものや消耗が激しいものの助言を受けている。（提案者）

昨年度と今年度は、コーディネーターが選書した図書についての予算がおりた。（司会者）

年間計画の話があったが、それは大阪市全市で取り組んでいるのか、それとも各校での取り組みなのか知りたい。（泉大津市 カミジョウ小学校 鈴木 T）

⇒市で統一してはいない。それぞれの区で情報交換して話し合って決めることが多い。（提案者）

年間計画は、大阪市教育研究会学校図書館部が全市に提案しているもの。活用してもらえるように広めているところ。（司会者）